

六本木地区

売買状況 (土地・建物)

六本木地区では3丁目で六本木一丁目駅から徒歩4分、麻布通り沿いにある土地面積約230㎡の土地の売買が行われた。
買主はこの土地で分譲マンションの建設を計画しており、地上14階建て、延床面積約1,500㎡の規模で竣工は2025年3月を予定しているという。

また、同じ3丁目では土地面積約290㎡、延床面積約1,100㎡の地下1階地上5階建ての商業ビル(飲食店舗・物販店舗・オフィス)の売買も行われ、2024年2月の竣工を目指している。
一方、7丁目では土地面積約70㎡、延床面積約308㎡の新築ビルの売買も行われ、買主は現在リーシングも進めている。

賃貸状況

コロナ感染症の位置づけが5月以降5類になり、個人選択の尊重・自主的な行動がベースとなり、昼夜人の流れが徐々に戻りつつあり、年末出店に向けて物件問合わせや実際に店舗を探している人が増加した。

店舗解約の件数は少なく、慢性的に物件が少ない状態である。
コロナ禍前に比べ、20坪前後の手頃な大きさの飲食店、バーの需要が高く、大箱の居酒屋等を探している話はあまり聞かない。

50坪超のキャバクラ・ラウンジは常に需要がある状態だが、対象となるビルがかなり少なく、出店希望者はこれから建築予定のビルまで視野に入れている。
賃料は現状維持若しくは値上げの傾向が強く、路面店では坪単価7万円からの募集、基準階坪単価で3万円前後でも申込みが複数件入る状況で、定期借家契約、保証会社利用の契約が主流になっている。

街の状況

8月には2003年にスタートした「六本木ヒルズ盆踊り」が4年ぶりの再開となり、歌手の六本木じろう氏が歌う「六本木音頭」やドラえもん、のび太くん、しずかちゃんが登場し盛り上がりを見せた「ドラえもん音頭」等、大人から子供まで楽しめる都内最大級のイベントが開催され、夏らしい雰囲気六本木の街を包んでいた。

また、麻布台ヒルズの完成が目前となり、今後の六本木の中心がどのように変化するのか、街行く人の流れにも注視したい。